

都立代々木公園の整備計画 答申(案)説明資料

- 資料2-1 都立代々木公園の整備計画 答申(案)
- 資料2-2 都立代々木公園の整備計画 答申(案)新旧対照
- 資料2-3 「都立代々木公園の整備計画(中間のまとめ)」に対する都民意見および対応方針(案)
- 資料2-4 「都立代々木公園の整備計画(中間のまとめ)」に対する地元自治体の要望対応方針(案)
- 参考資料2-1 都立代々木公園 位置図
- 参考資料2-2 都立代々木公園 空中写真

都立代々木公園の整備計画 答申(案)

- ・都立代々木公園 整備計画 (案)
- ・都立代々木公園 ゾーニング図(案)
- ・都立代々木公園 イメージスケッチ(参考)

都立代々木公園の整備計画（案）

- 1 所在地 東京都渋谷区神南一丁目地内
- 2 計画対象面積 約 1.2ha
- 3 都市計画 東京都都市計画公園 第5・7・24号 代々木公園
当初告示 昭和32年12月21日 建設省告示第1689号 約160.98ha
最終告示 昭和51年 7月13日 東京都告示第686号 約 65.8ha
- 4 開園 開園年月日 昭和 42年 10月 20日
開園面積 約 54ha（平成 30年 4月現在）

5 整備計画

（1）計画地の概要

都市計画代々木公園は隣接する明治神宮内苑と一体となり広大な緑地を形成する総合公園である。計画区域の大部分は都立代々木公園として、北側のA地区は草地の中央広場と休息・散策のできる雑木林等に、南側のB地区は陸上競技やサッカー等のスポーツも楽しめる公園になっている。また、一部は国立代々木競技場として利用されている。

計画地は、都市計画代々木公園の南東端に位置し、渋谷駅周辺の街からの入り口の一つ、JR線路沿いの区立公園の接点になるとともに、国立代々木競技場に隣接している。

なお、計画地の南側は水道局ポンプ所として利用中であり、今後、給水所として整備を予定している。

（2）計画テーマの設定

代々木公園A地区・B地区の風景である森林公園の緑の連続性を感じられる景観と、まちに開かれた新たな顔を作りながら渋谷と原宿の賑わいを結びつけることを目指し、計画テーマを「緑の風景の中で人々が交流し、賑わいの拠点となる公園」とする。

（3）計画コンセプトの設定

計画テーマを具現化するための計画コンセプトを以下の3つとする。

① 緑を意識する公園

代々木の森の一部となり、周辺の緑地や自然環境に配慮するとともに、道路や鉄道からの景観に配慮した緑地を創出する。

② 人が集う公園

時代のニーズに応える魅力的でまちに開かれた場を提供することで、多様な人々が集い、様々な価値観を共有できる交流空間とする。

③ 賑わいを創出する公園

緑をベースにした質の高い賑わい空間を提供することで、渋谷・原宿の賑わいを結ぶ拠点を創出する。

（4）ゾーニング

整備計画のコンセプト及び計画地の立地特性等を踏まえ、「みどりと集いのゾーン」と「雑木林とヒーリングガーデンのゾーン」を配置する。

2つのゾーンを一体的に利用できるような回遊性の高い空間とするとともに、沿道風景に配慮した緑化を行う。また水道施設や周辺の施設等と連携し、地域の防災機能の強化・充実に図る。

① みどりと集いのゾーン

都立代々木公園の豊かな緑がまちの中に浸みだしていく空間とし、周囲のまちに溶け込み、公園が潜在的に有する多面的な機能を発揮させることにより様々なニーズに対応し、人が集う賑わいの場を形成するゾーン

-1 のびのびと育つ木々の下でくつろいだり、イベント等を楽しんだりできる開放的な集い空間を創出する。

-2 民間ならではの新しい視点を取り入れ、原宿と渋谷の賑わいを結びつけ、多様な人々が集い、交流を生み出す、緑の中で誰もが心地よく過ごせるオープンスペースにふさわしい施設を整備する。

-3 原宿駅からの顔となるエントランスを整備し、公園への利用動線を確保するとともに、既存の公園の回遊性を高める。また、周辺からの公園全体の視認性に配慮し、まちに開かれ、豊かな緑に彩られた魅力的な景観形成を図る。

② 雑木林とヒーリングガーデンのゾーン

水道施設と共存し、質の高い緑や景観を創出し、オフィスと住宅が混在する隣接市街地に配慮した落ち着いたあるゾーン

-1 季節の移り変わりの花々や木々の息吹などを体感でき、歩いたり、眺めたり、ゆったりできる小庭園を思わせるような魅力的で気品のある「癒しの空間」とする。

-2 ゾーン外周は散策や休憩などに利用できる空間を創出し、樹木の組合せで緑に厚みを持たせるとともに、敷地高低差のバリアフリーに配慮したエントランスを整備し、人が集う場所として渋谷駅から公園への利用動線を確保する。

（5）整備手法

北側の「みどりと集いのゾーン」を先行して整備する。

南側の「雑木林とヒーリングガーデンのゾーン」の整備は、水道施設の整備時にあわせて行い、その際、先行整備の北側との一体的活用を図っていく。

都立代々木公園 ゾーニング図（案）

みどりと集いのゾーン

代々木公園の豊かな緑がまちの中に浸みだしていく空間とし、周囲のまちに溶け込み、公園が潜在的に有する多面的な機能を発揮させることにより様々なニーズに対応し、人が集う賑わいの場を形成するゾーン

- のびのびと育つ木々の下でくつろいだり、イベント等を楽しんだりできる開放的な集い空間を創出する。

- 民間ならではの新しい視点を取り入れ、原宿と渋谷の賑わいを結びつけ、多様な人々が集い、交流を生み出す、緑の中で誰もが心地よく過ごせるオープンスペースにふさわしい施設を整備する。

- 原宿駅からの顔となるエントランスを整備し、公園への利用動線を確保するとともに、既存の公園の回遊性を高める。また、周辺からの公園全体の視認性に配慮し、まちに開かれ、豊かな緑に彩られた魅力的な景観形成を図る。

雑木林とヒーリングガーデンのゾーン

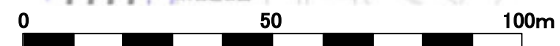
水道施設と共存し、質の高い緑や景観を創出し、オフィスと住宅が混在する隣接市街地に配慮した落ち着いた落ち着きのあるゾーン

- 季節の移り変わりの花々や木々の息吹などを体感でき、歩いたり、眺めたり、ゆったりできる小庭園を思わせるような魅力的で気品のある「癒しの空間」とする。

- ゾーン外周は散策や休憩などに利用できる空間を創出し、樹木の組合せで緑に厚みを持たせるとともに、敷地高低差のバリアフリーに配慮したエントランスを整備し、人が集う場所として渋谷駅から公園への利用動線を確保する。

みどりと集いのゾーン

雑木林とヒーリングガーデンのゾーン



都立代々木公園 イメージスケッチ (参考) ~みどりと集いのゾーン~



都立代々木公園 イメージスケッチ (参考) ~雑木林とヒーリングガーデンのゾーン



都立代々木公園の整備計画 答申(案)新旧対照

- ・都立代々木公園 整備計画 (案) 新旧対照
- ・都立代々木公園 ゾーニング図(案)新旧対照

都立代々木公園の整備計画（案）新旧対照

1 所在地	東京都渋谷区神南一丁目地内
2 計画対象面積	約 1.2ha
3 都市計画	東京都都市計画公園 第5・7・24号 代々木公園 当初告示 昭和32年12月21日 建設省告示第1689号 約160.98ha 最終告示 昭和51年 7月13日 東京都告示第686号 約 65.8ha
4 開園	開園年月日 昭和 42年 10月 20日 開園面積 約 54ha（平成 30年 4月現在）

5 整備計画

(1) 計画地の概要

都市計画代々木公園は隣接する明治神宮内苑と一体となり広大な緑地を形成する総合公園である。計画区域の大部分は都立代々木公園として、北側のA地区は草地の中央広場と休息・散策のできる雑木林等に、南側のB地区は陸上競技やサッカー等のスポーツも楽しめる公園になっている。また、一部は国立代々木競技場として利用されている。

計画地は、都市計画代々木公園の南東端に位置し、渋谷駅周辺の街からの入り口の一つ、JR線路沿いの区立公園の接点になるとともに、国立代々木競技場に隣接している。

なお、計画地の南側は水道局ポンプ所として利用中であり、今後、給水所として整備を予定している。

(2) 計画テーマの設定

代々木公園A地区・B地区の風景である森林公園の緑の連続性を感じられる景観と、まちに開かれた新たな顔を作りながら渋谷と原宿の賑わいを結びつけることを目指し、計画テーマを「緑の風景の中で人々が交流し、賑わいの拠点となる公園」とする。

(3) 計画コンセプトの設定

計画テーマを具現化するための計画コンセプトを以下の3つとする。

① 緑を意識する公園

代々木の森の一部となり、周辺の緑地や自然環境に配慮するとともに、道路や鉄道からの景観に配慮した緑地を創出する。

② 人が集う公園

時代のニーズに応える魅力的でまちに開かれた場を提供することで、多様な人々が集い、様々な価値観を共有できる交流空間とする。

③ 賑わいを創出する公園

緑をベースにした質の高い賑わい空間を提供することで、渋谷・原宿の賑わいを結ぶ拠点を創出する。

(4) ゾーニング

整備計画のコンセプト及び計画地の立地特性等を踏まえ、「みどりと集いのゾーン」と「雑木林とヒーリングガーデンのゾーン」を配置する。

2つのゾーンを一体的に利用できるような回遊性の高い空間とするとともに、沿道風景に配慮した緑化を行う。また水道施設や周辺の施設等と連携し、地域の防災機能の強化・充実を図る。

① みどりと集いのゾーン

都立代々木公園の豊かな緑がまちの中に浸みだしていく空間とし、周囲のまちに溶け込み、公園が潜在的に有する多面的な機能を発揮させることにより様々なニーズに対応し、人が集う賑わいの場を形成するゾーン

-1 のびのびと育つ木々の下でくつろいだり、イベント等を楽しんだりできる開放的な集い空間を創出する。

-2 **原宿、渋谷を結びつける多様な人々が集う空間として**民間ならではの新しい視点を取り入れ、**公園としての特徴を生かした魅力的な原宿と渋谷の賑わいを結びつけ、多様な人々が集い、交流を生み出す、緑の中で誰もが心地よく過ごせるオープンスペースにふさわしい施設を整備する。**

-3 原宿駅からの顔となるエントランスを整備し、公園への利用動線を確保するとともに、既存の公園の回遊性を高める。また、周辺からの公園全体の視認性に配慮し、**公園らしいまちに開かれ、豊かな緑に彩られた魅力的な景観形成を図る。**

② 雑木林とヒーリングガーデンのゾーン

水道施設と共存し、質の高い緑や景観を創出し、オフィスと住宅が混在する隣接市街地に配慮した落ち着いたあるゾーン

-1 季節の移り変わりの花々や木々の息吹などを体感でき、歩いたり、眺めたり、ゆったりできる小庭園を思わせるような魅力的で気品のある「癒しの空間」とする。

-2 ゾーン外周は散策や休憩などに利用できる空間を創出し、樹木の組合せで緑に厚みを持たせるとともに、敷地高低差のバリアフリーに配慮したエントランスを整備し、人が集う場所として渋谷駅から公園への利用動線を確保する。

(5) 整備手法

北側の「みどりと集いのゾーン」を先行して整備する。

南側の「雑木林とヒーリングガーデンのゾーン」の整備は、水道施設の整備時にあわせて行い、その際、先行整備の北側との一体的活用を図っていく。

都立代々木公園 ゾーニング図（案）新旧対照

みどりと集いのゾーン

代々木公園の豊かな緑がまちの中に浸みだしていく空間とし、周囲のまちに溶け込み、公園が潜在的に有する多面的な機能を発揮させることにより様々なニーズに対応し、人が集う賑わいの場を形成するゾーン

- のびのびと育つ木々の下でくつろいだり、イベント等を楽しんだりできる開放的な集い空間を創出する。

- 原宿、渋谷を結びつける多様な人々が集う空間として民間ならではの新しい視点を取り入れ、公園としての特徴を生かした魅力的な原宿と渋谷の賑わいを結びつけ、多様な人々が集い、交流を生み出す、緑の中で誰もが心地よく過ごせるオープンスペースにふさわしい施設を整備する。

- 原宿駅からの顔となるエントランスを整備し、公園への利用動線を確保するとともに、既存の公園の回遊性を高める。また、周辺からの公園全体の視認性に配慮し、公園らしいまちに開かれ、豊かな緑に彩られた魅力的な景観形成を図る。

雑木林とヒーリングガーデンのゾーン

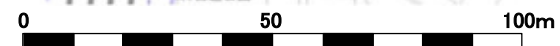
水道施設と共存し、質の高い緑や景観を創出し、オフィスと住宅が混在する隣接市街地に配慮した落ち着いた落ち着きのあるゾーン

- 季節の移り変わりの花々や木々の息吹などを体感でき、歩いたり、眺めたり、ゆったりできる小庭園を思わせるような魅力的で気品のある「癒しの空間」とする。

- ゾーン外周は散策や休憩などに利用できる空間を創出し、樹木の組合せで緑に厚みを持たせるとともに、敷地高低差のバリアフリーに配慮したエントランスを整備し、人が集う場所として渋谷駅から公園への利用動線を確保する。

みどりと集いのゾーン

雑木林とヒーリングガーデンのゾーン



「都立代々木公園の整備計画（中間のまとめ）」に対する都民意見及び対応方針（案）

募集期間 平成31年2月5日～3月6日

応募総数 9通 22件（地元意見2通、その他7通）
（FAX：1通、メール：8通、郵送：0通）

No	ご意見	対応方針
1	<p>【整備計画全体に関する意見】 7件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地のポテンシャルは高い。日本を代表するエリアである。素晴らしい公園整備を期待する。渋谷駅周辺に新しい森が生れるのは景観的にも、環境的にも素晴らしい。 ・広大な都心一等地に大切な‘緑’を残す～創る良い方針と感心した。 ・ポテンシャルのある場所なので沢山の人が楽しめる施設ができ、都心の公園の新しい形ができるといいと思う。期待している。 ・コンセプトが3つというのは違和感がある。一つに絞り込み整備方針を明確にすべき。 「緑、人が集う、賑わい」それでどんな公園を目指すのか？ 他の公園や施設との違いを明確にし、個性ある空間を創出して欲しい。 ・（4）ゾーニング①みどりと集いのゾーンについて、-2に「公園としての特徴を生かした魅力的な施設を整備する」とありますが、計画地において生かすべきと考えるのはどのような特徴なのかをもう少し詳しく記載してはどうか。 ・近くには運動施設が集中し、各種の大会やコンサート、イベントで人が集まります。この特徴を生かして、新旧の情報発信が行われ、交流を生む場となる施設を整備することが必要ではないか。 ・-3に「公園らしい魅力的な景観形成を図る」とありますが、公園らしい魅力的な景観とはどんなものかも詳しく記載してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備計画に基づき、公園の整備や管理を進めてまいります。 ・計画地は代々木公園の入口となることや、渋谷・原宿の中間に位置することなどの立地特性を生かし、広大な緑地の一部となる緑の中、多様な人々の交流を生み出し、渋谷・原宿の賑わいを結ぶ拠点を目指すことから、緑を意識する公園、人が集う公園、賑わいを創出する公園という3つの計画コンセプトを定めています。整備計画に基づき、立地特性を生かし、公園の整備や管理を進めてまいります。 ・渋谷・原宿の中間に位置することや国立代々木競技場に隣接することを踏まえ、（3）計画コンセプトの設定②に示す通り多様な人々が集い、様々な価値観を共有できる交流空間とすることとしています。（4）ゾーニング①みどりと集いのゾーン-2については、いただいた意見を踏まえ、「民間ならではの新しい視点を取り入れ、原宿と渋谷の賑わいを結びつけ、多様な人々が集い、交流を生み出す、緑の中で誰もが心地よく過ごせるオープンスペースにふさわしい施設を整備する」に修正しました。 ・いただいた意見を踏まえ、（4）ゾーニング①みどりと集いのゾーン-3については、「<u>まちに開かれ、豊かな緑に彩られた魅力的な景観形成を図る。</u>」に修正しました。

No	ご 意 見	対 応 方 針
2	<p>【自然環境や植栽に関する意見】 6件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山手線の周りは緑があまりないので、公園には是非木を植えて欲しい。 ・ゾーニングにとらわれない生物多様性創出（多様な草花を植えて多様な虫を呼ぶような生物多様性に貢献すること、潜在自然植生のみをフォーカスするのではなく多様な遷移段階の植生・生態系を意識すること、種を集めるなどして、固有の自然を継承した植栽、など）、周囲の在来種を活用した植栽をご検討いただきたい。 ・相当数の歩行者が見込まれることから、緑や植栽への理解を高めるため、樹名板や自然解説板の整備やガイドボランティアの育成など普及啓発への取り組みもご検討願いたい。 ・民間と協働した緑系のイベントの開催も有望と考える。 ・周囲の沿道にプランターを置くような動きを別途作り、連動していくとよい。 ・見通しが悪くうっそうとしたジャングルのような森にすると場所柄からホームレスが集まりかねないので、日頃からきちんと維持管理を行い、明るく清潔感のある公園にしてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「緑を意識する公園」を計画コンセプトの一つとしております。整備計画に基づき、公園の整備・管理を進めてまいります。 ・（3）計画コンセプトの設定①の通り、代々木の森の一部となり、周辺の緑地や自然環境に配慮することとしております。公園の整備や管理の参考にさせていただきます。 ・ご意見は、道路管理者と共有するなど、公園の整備や管理の参考にさせていただきます。 ・公園の整備や管理の参考にさせていただきます。
3	<p>【施設整備に関する意見】 7件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの方が集まる場所なので歩道を広くして歩きやすいようにしてもらえると、賑わいが出るのではないかな。 ・少数の喫煙所を定め、それ以外は電子タバコ類も含め禁煙にしてほしい。喫煙所をトイレとセットで設置している施設があるが、トイレ利用者や掃除の方が必ず受動喫煙する事になるので、全く違う人の通らない場所に設置してほしい。 ・公園利用者の利便性と、環境に優しく健康増進につながる自転車交通の役割として、シェアサイクルのサイクルポートの位置づけと設置を計画の中に盛り込んでほしい。渋谷区と協力してサイクルポートを設置してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見は、道路管理者と共有するなど、公園の整備や管理の参考にさせていただきます。 ・都立公園では、主要な園路や子どもが使用する遊具の周辺にある吸殻入れを撤去するとともに、喫煙マナーの向上に努めています。また、渋谷区では、平成31年4月1日より「きれいなまち渋谷をみんなでつくる条例」が改正され、都立公園を含めた区内の公共の場所での喫煙が指定喫煙所を除き禁止になりました。公園の整備や管理の参考にさせていただきます。 ・ご意見は、渋谷区と共有し、公園の整備や管理の参考にさせていただきます。

No	ご 意 見	対 応 方 針
3	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクルスポーツの振興についての位置づけと、歩行者と自転車動線を分離し安全性を確保し、公園内でのMTBなどオリンピック競技が体験できる自転車利用の環境整備を盛り込んでいただきたい。 ・イメージ図では、幼児の自転車コーナーがあるようですが、言葉で位置づけ計画に盛り込んでほしい。 ・みどりと集いのゾーンについて、インバウンドで来客した外国人が立ち寄れる施設だと良い。代々木公園を訪れると、外国人が横になっている空間があり、海外の公園に似た雰囲気がある。例えばホテルとショッピング施設を併設する等、外国人が気軽に立ち寄れる施設になると良い。※海外のセントラルパークのようなイメージ。 ・提案として、「夜の公園」の活用をして頂けないか。高層・超高層ビル群に囲まれている地形を逆に資源と考え、「夜の公園キャンプ」や「テント生活体験」など夜営の出来る広場を計画に加えて頂きたい。「防災体験」としてもいかがか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間ならではの視点も取り入れ、原宿と渋谷の賑わいを結びつけ、多様な人々が集い、交流を生み出す、緑の中で誰もが心地よく過ごせるオープンスペースにふさわしい施設を整備することとしています。今後、計画の具体化に当たり、参考にさせていただきます。
4	<p>【管理・運営に関する意見】 2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道で毎日のようにホームレスを集めて食事の配布をしている方がいますが、そんなことを認めていると公園がホームレスのたまり場になるので、しっかり取り締まってほしい。 ・普通の人々が気軽に立ち寄れるような魅力的な公園にして、人の目が届くことによりホームレスが近づきにくい環境にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の適正な管理に努めてまいります。 ・（3）計画コンセプトの設定の通り、人が集い、賑わいを創出する公園を目指してまいります。

「都立代々木公園の整備計画（中間のまとめ）」に対する地元自治体の要望対応方針(案)

No	ご 意 見	対 応 方 針
1	<p>【施設整備に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールの3×3のコートを設置してほしい。 ・スケートボードパークを設置してほしい。 <p>要望理由</p> <p>都立代々木公園は、区民アンケート等で「区民が好きな場所・誇れる場所」の上位に入る、渋谷区民のシティプライドを象徴する公共施設である。今回の計画策定にあたっては、後世に誇れる場所に加え地域課題の解決につながる施設として整備していただきたい。</p> <p>今回示された計画コンセプトに照らすと、岸記念体育会館跡地となる部分のイメージスケッチは「緑を意識する公園」としてみどりの増える計画となっており、地元自治体として評価している。「人が集う公園」「賑わいを創出する公園」として、先の施設設置を要望する。</p> <p>バスケットボールの3×3及びスケートボードについては、今回の東京オリンピックの新種目であり、レガシーとして設置が検討されるべき施設である。</p> <p>特にスケートボードは、「渋谷らしさ」を形成する重要な柱であるストリートカルチャーを代表する種目であり大変人気がある一方、路上で不法に行われるなど夜間にお行われることで周辺住民から苦情が来るなど、地域の課題となっている。スケートボードパークの設置は時にかなうとともに地域課題の解決につながるものであり、地元自治体として設置を強く要望する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民間ならではの新しい視点を取り入れ、原宿と渋谷の賑わいを結びつけ、多様な人々が集い、交流を生み出す、緑の中で誰もが心地よく過ごせるオープンスペースにふさわしい施設を整備することとしております。今後計画の具体化にあたり、参考にさせていただきます。

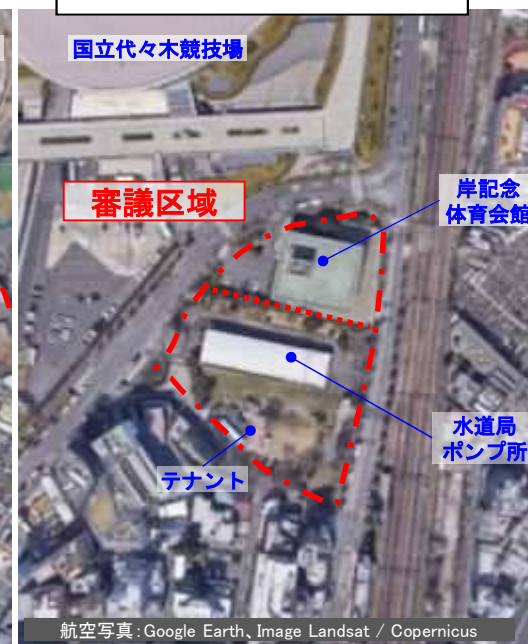
都立代々木公園 位置図

参考資料 2-1



都立代々木公園 空中写真

参考資料 2-2



航空写真: Google Earth, Image Landsat / Copernicus

凡例

- 計画区域
- 開園区域
- 審議区域